

## ご利用料金(概算)

○介護保険自己負担(1ヶ月当り)

| 介護度  | 1割負担    | 2割負担    | 3割負担    |
|------|---------|---------|---------|
| 要支援1 | 3,418円  | 6,836円  | 10,254円 |
| 要支援2 | 6,908円  | 13,816円 | 20,724円 |
| 要介護1 | 10,364円 | 20,728円 | 31,092円 |
| 要介護2 | 15,232円 | 30,464円 | 45,696円 |
| 要介護3 | 22,157円 | 44,314円 | 66,471円 |
| 要介護4 | 24,454円 | 48,908円 | 73,362円 |
| 要介護5 | 26,964円 | 53,928円 | 80,982円 |

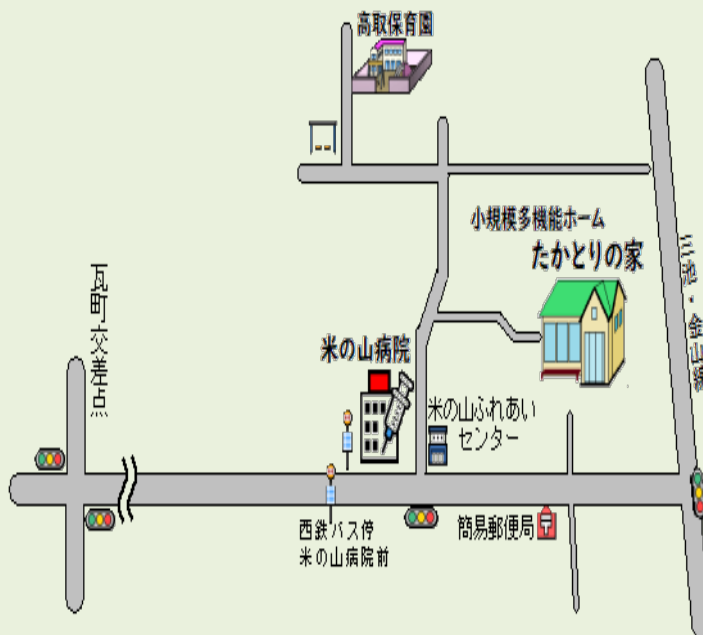
※上記以外に各種加算の自己負担が発生します。

|          |     |
|----------|-----|
| 登録定数     | 29名 |
| 通い定数(1日) | 18名 |
| 宿泊定数(1日) | 9名  |

○その他費用

|     |       |
|-----|-------|
| 朝食  | 250円  |
| 昼食  | 450円  |
| おやつ | 150円  |
| 夕食  | 450円  |
| 宿泊費 | 2500円 |

# アクセスマップ



利用のご相談・見学は随時受け付けています。

お問い合わせ  
社会福祉法人あらぐさ会

小規模多機能ホーム  
たかとりの家

〒837-0924

福岡県大牟田市歴木 4-185

TEL 0944-31-3702

FAX 0944-31-3142

小規模多機能ホーム

## たかとりの家

(介護保険事業番号 4091500613)

地域交流施設 **ぷらむ**

「住み慣れた地域で、  
あなたらしく暮らし続け  
ることを、共に応援  
します」



社会福祉法人 **あらぐさ会**

TEL 0944-31-3702

FAX 0944-31-3142

# あるがままを大切にします 小規模多機能ホーム たかとりの家

## 小規模多機能ホームとは・・・

高齢になっても、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「通い」「訪問」「宿泊」の機能を柔軟に使うことができます。

その人の暮らしのスタイルに合わせた支援を行います。

## ご利用できる方は・・・

・大牟田市内に居住し、介護保険で要支援1以上に認定された方が対象となります。



●宿泊部屋9室。冷暖房完備。  
その人に合わせた利用ができます。



●居間・食堂風景。広々とした空間の中でも、家庭的な雰囲気大切に。床暖房。

# 住みなれたまちに暮らす 地域交流施設 ぷらむ

## 地域交流施設は・・・

- 地域の高齢者を中心として、誰でも利用できる地域の「集まり場・茶のみ場」です。
- 定期的に、「介護予防事業」を開催していきます。
- 一般の方のサークル活動や会議にもご利用できます。  
ぜひ、お気軽にご利用ください。

## ●ご利用時間

毎日 9:00～19:00 まで利用可能

- \* 上記以外の時間の利用希望はご相談ください。
- \* 利用予定の申し込みを事前をお願いいたします。

## ●ご利用料金

無料 (ただし、材料費や茶菓子等は実費負担が必要な場合があります。)

- 利用申し込みは小規模多機能ホーム「たかとりの家」で受け付けています。

## 小規模多機能ホーム **いまやまの家**

開設…2006年9月



所在地〒837-0922 大牟田市大字今山 1184-23

お問い合わせ

電話：0944-59-3606 FAX：0944-59-3608

利用定員

利用登録定員：20名

通いの定員：12名

お泊りの定員：5名

- ◎ 併設施設…あじさい地域交流広場（介護予防・地域交流拠点）  
通所型サービス（基準緩和型）毎週水曜日に実施

### 特徴

小規模多機能型居宅介護は、認知症の方が住みなれた地域や自宅で生活を継続できるよう支援する介護の拠点施設となることです。

認知症になっても、その人らしく尊厳をもって生きることを支援する目的で作られました。

具体的には、通うサービスを中心に必要に応じて訪問サービスを行い、希望に応じて泊りのサービス行うなど必要なサービスを組み合わせて、利用者の認知症の進行を遅らせ、周辺症状を緩和し、おだやかに笑顔で暮らしを続けられるよう24時間365日のケアを提供しています。

### 利用対象者

介護認定を受けられた方。但し、認知症を有する方を優先することがあります。住所が事業所所在地に居住の方。事業所所在地以外にお住まいの方はご相談ください。

#### 「自分らしく暮らしたい」をささえる介護

地域密着型介護サービス。

「認知症になっても住みなれた地域や自宅で可能な限り暮らし続けたい」という願いに寄り添って介護支援を行います。

通い、訪問、泊りのサービスを組み合わせ、さらに必要に応じ福祉用具レンタルや訪問リハビリ、訪問看護も活用して24時間・365日の介護サービスを提供します。

### 介護相談・お試し利用

認知症の方を介護してある家族や介護者の方の介護相談に応じています。認知症の周辺症状（もの忘れ、せん妄、徘徊、暴力的言動など「問題」とされる行動）による家族介護の限界や対応の困難を訴えられる介護者が多く、小規模多機能施設でなじみの関係を築き介護の方法を見出すことを目的に、一時的に通い・泊り・訪問の介護サービスを試す取り組みも行い効果をあげています。

## 地域運営推進会議の開催

地域との協力関係を築き、介護に活かしていくために、地域代表者の方や民生児童委員の方、地域包括支援センター職員を含めた「地域運営推進会議」を2ヶ月に1回開催しています。同事業や介護内容の報告と検討を行う他、年間行事への協力や地域の行事への参加、認知症予防の取り組み、地域の介護相談、災害時対策など様々な話題を話し合っ、地域づくりの一助になるよう取り組んでいます。

## 日常生活

|    |                   |   |
|----|-------------------|---|
| 朝方 | 7:30 ~<br>10:00   | 通いの利用者の希望時間にあわせて送迎。<br>ご家族との大事な申し送りの時間でもあります。   |
| 日中 | 9:00 ~<br>17:00   | 各自ご利用者の望むことを行います。<br>自分でできることは可能な限り自分でされるように声をかけて、引き出しながら、見守ったり援助したり臨機応変に介護。<br><hr/> 「 昼食の買い物に行く方 」 「 散歩を楽しむ方 」 「 お花に水をやる方 」 「 テレビを見ている方 」 「 横になって休む方 」 「 スタッフの動作を見守っている方 」 過ごししかたは様々です。<br>入浴は、家庭の風呂と同じ大きさでお一人ずつスタッフの介護で行います。ゆっくり時間をかけて気持ちよく入れるよう援助します。<br><hr/> 食事づくりは、スタッフやボランティアの方の手作りです。時々利用者の方も参加します。<br>昼食が一番にぎやかです。これは味が薄い、おいしい、どこで売っていたなどなどスタッフも一緒に食事とおしゃべりを楽しんでいます。<br><hr/> 通いサービスをしない日の在宅で過ごされている方に対しては、訪問スタッフがご自宅に行き必要なケアを行います。 |
| 夕方 | 17:00 ~<br>19:30  | 帰りの方の送迎が始まります。2 ~ 3 人ずつ家族との約束の時間に合わせてお送りします。<br>家族の帰りが遅い方は夕食も提供します。お泊りの利用者や夜勤のスタッフも一緒に食卓を囲みます。  |
| 夜間 | 19:30 ~<br>翌 7:30 | お泊り利用の方の趣向に合わせてゆっくり過ごし、就寝まで夜勤スタッフが見守ります。<br>就寝後も、夜中のトイレ誘導など安心できるよう援助します。<br>夜勤スタッフのほか、在宅で過ごされている方への急な対応ができるよう訪問スタッフが待機しています。  |

\* 見学・体験は、随時受け付けていますので電話にてご連絡ください。